

千葉県社会福祉審議会 児童福祉専門分科会 社会的養護検討部会

社会的資源あり方検討委員会

～委員から県民の方々へのメッセージ～

この報告は、社会的資源あり方検討委員会の委員がおよそ1年10か月にわたる協議、関係団体からのヒアリング、パブリックコメントなどを通じてまとめたものです。

ここでは、県に対してなすべきことを報告するのみならず、県民に対しても直接メッセージを発信したいとの委員の思いから、すべての千葉県民の方にメッセージを贈ります。

私たちは、すべての子どもたちが、暖かい家庭生活の中で育てられることを願っています。そのための支援をし、また、何らかの事情で親元で暮らすことのできない子どもたちのよりよい生活を保障するためには、行政や専門家のみならず、地域の人たちの協力が不可欠です。そのため、全ての県民の方々に以下のメッセージを発信して協力をお願いしたいと思います。

【すべての子どもたちへ】

- あなたたち一人ひとりがかげがえのない存在であり、あなたたちがこの千葉県で健やかに育つ社会を創り出すことは、大人たちの責任でもあります。困ったり悩んだりすることがあったら、ためらわずにまわりの大人たちに相談を持ちかけてください。

【子育てに困ったときにはSOS】

- 子育ては誰にとっても悩み、苦しみがあるもので、完璧な親はいません。子育てに疲れたら相談するなど人の力を借りてみませんか。子育て支援サービスを上手に活用し、困ったら、とにかくSOSを発してみましょう。

【地域の子どもたちを見守り、支えましょう】

- あなたの周りで子育てに困っている人がいたら、ためらわずに手を貸してください。小さな子育て応援の積み重ねが、子育てにゆとりを与えるでしょう。
- 地域の子どもたちを一時的に保育したり、児童養護施設などに入所している子どもたちが家庭生活を体験したりできるよう、たとえば夏季休暇中などに家庭に受け入れてください。
- 地域の子どもたちの名前を覚え、そして、見かけたら、声を掛けてください。地域のみんなで子どもを見守ることが、子どもの安全、安心を確保することとなります。
- 住み慣れた家庭や地域を離れ、児童福祉施設で生活している子どもも、やがては家庭や地域に戻ってきます。その時には彼らを暖かく迎えてほしいと思います。

【子どもたちは里親を求めています】

- 千葉県には、今なお親元で暮らすことのできない子どもたちがたくさんいます。そのような子どもたちが家庭的環境のもとで育てられるために、多くの里親が必要とされています。
あなたを里親として必要とする子どもたちがいることを、考えてみてください。

【おかしいとおもったら、迷わず通告を】

- 不適切な子育てや虐待を見かけたら、市町村や児童相談所に通告することが広く国民の義務として規定されています。通告はSOSを発することができない人を援助に結びつける大切な役割です。
- 子どもの生命を守るためには、親が子どもを養育する権利やプライバシーが制限される場合もあります。そのことを、子どもたちの福祉のために理解してほしいと思います。